

福部未来学園中だより

平成29年度 第 1号

平成29年 4月18日発行

鳥取市立福部未来学園中学校

鳥取市福部町高江 485-3

<http://www.torikyo.ed.jp/fukube-j/>

人間到る処青山あり

わが家に「ことわざカレンダー」なるものが掛けてあります。娘が100円ショップで買ってきたそのカレンダーの年初の言葉が、表題の「人間到る処青山あり」でした。

「にんげん(じんかんとも読む)いたるところせいざんあり」

幕末の僧、釈月性(しゃくげっしょう)の漢詩の中に出てくる言葉です。「世の中は広く、死んで骨を埋める場所ぐらいどこにでもあるのだから、『大望』を成し遂げるといふ目標があるのであれば、どこにでも行って大いに活躍するべきである」という意味です。

昨年12月30日に亡くなったノートルダム清心学園理事長であり、キリスト教の修道者でもある渡辺和子さんの200万部を超えるベストセラーのタイトル「置かれた場所で咲きなさい」(幻冬舎)に通じるものがあります。渡辺さんが亡くなった時期とちょうど重なったこともあり、「人間到る処青山あり」というこの言葉が深く心に残りました。

生徒たちには渡辺さんの「置かれた場所で咲きなさい」という言葉の方を用い、始業式で話をしました。「どんなところに置かれても花を咲かせる心を持ち続けましょう。」

「どうしても咲けない時もあります。そんな時には無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために。」—そう渡辺さんはおっしゃっています。

この度、木村正人校長先生の後を受け、福部未来学園中学校の校長を拝命しました。私に与えられた「場所」は、引き続き「福部未来学園」と決まりました。では、「大望」は…。これも実に明快、福部未来学園における教育目標である「健やかで 思いやりがあり志をもつ子の育成～ふるさとの未来を拓き 創造する福部の宝の育成～」に向け、日々取組を推進するとともに、その成果を「目に見える」ようにすること、そして、幼小中が一体となった「福部未来学園」を実現することです。

先日、幼小中それぞれで入園・入学式を終え、「福部の宝」が勢揃いしました。幼小中施設一体型校舎の増築・改修工事もいよいよ始まります。平成30年度には、10年間の一貫教育を同じ校舎内で行う環境がある程度整う予定です。

幼小中の校園長をはじめ教職員一同、今置かれた福部未来学園こそが自分の居場所ととらえ、一丸となっ

て、教育目標の達成に向けた学園運営を進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

福部未来学園中学校長 長石 彰

明日の花を咲かせる学園

新入生23名を迎え、全校生徒72名の福部未来学園中学校が新年度のスタートを切りました。入学式では新入生も2・3年生と一緒に「明日の花を咲かせよう」と大きな声で学園歌を歌うことができ、とても嬉しく思いました。新入生が校歌(学園歌)を歌える学校はそう多くありません。地域に見守られながら、幼・小・中一貫した教育を目指していく福部未来学園の成果の一つなのだと感じました。

同時に、2・3年生の歌声にも感激しました。中学生として新しい仲間を迎える気持ちがあふれていたからです。実は小さい頃から良くわかったメンバーが入学してくるのでしょうか。しかし、「いま始まる 新しいいま」(始業式の日)に生徒玄関に掲示してありました。昨日発見できなかった、よく知っているつものあの人の新しいところを発見し、新しい人間関係をつくっていけるとしたらどんなに人生を良くしてることができるでしょう。

「学び」についても同じことが言えます。させられている勉強を脱して、いつも新しい学びを求めていること。学ぶ喜びを感じ続けること。学び続ける中で学び方が身につけていること。それが、これから求められている学びの姿です。ITなどの技術革新と労働力の供給過剰により10年後は現在の職業の半分がなくなっているかもしれないといわれる今、いつまでも進んで学び続けることが必要なのです。

故郷の鳥取砂丘でペルセウス座流星群を見て「人の手で流れ星をつくらう」と思い、今その夢を実現させようとしているのが、鳥取市出身の岡島礼奈さんです。二児の母親をしながら企業をたちあげ、東京オリンピックの夜空に自分たちの手で作った流れ星を流すことを計画しています。まだ利益を上げていないにもかかわらず、岡島さんの企業には大学の先生やアーティストなど一緒に夢を実現しようとする人がたくさん集まっています。人とつながりながら、夢を実現させること、それが「明日の花を咲かせる」ことなのだと思ひます。生徒の皆さん一人ひとりの明日の花を咲かせる福部未来学園を実現していきたいと願っています。ちなみに岡島さんは長石校長先生の中学時代の教え子だそうです。

福部未来学園中学校教頭 山根 隆洋

よろしくお祈いします・新入生

新入生23名が入学し、福部未来学園中学校72名が揃いました。式辞では長石校長が体育館に掲げてある「仁恕（じんじょ）」という



言葉から「秩序や定められたルールを守り、自分がされて嫌なことは、相手に対してもやらない、そういう思いやりの気持ちを持つこと」の大切さを伝えました。新入生からは代表の中井莉央さんが「中学校では学習はより専門的になり、部活動も



始まりますが、部活動と勉強の両立をめざし、毎日の予習と復習を怠らずに真剣に勉強に取り組みます。」と力強い誓いの言葉を述べました。新入生を含め72名の生徒が更に成長をしてくれることを期待しています。

よろしくお祈いします・転入職員（1）

北村 哲生（てつお） 1年主任・国語・野球部

縁あって小中一貫校若桜学園から転任して参りました。国語を担当します。体に無理はきかなくなっておりますが、気持ちだけは負けないつもりです。ただ、授業後はぐったりします。恐るべきは中学生のパワーです。

13年ぶりの1年生担当に、毎日ドキドキしながら生活しています。「年寄りの冷や水」と言われぬように精一杯努力いたしますので、なにとぞよろしくお祈い致します。

山本 千紘（ちひろ） 1年担当・音楽・吹奏楽

はじめまして！この春から福部未来学園中学校に赴任してきました山本千紘です。担当する教科は音楽、部活動は吹奏楽部です。幼い頃から身近にピアノがあり、中学・高校とどっぷり吹奏楽にはまり、大学も音楽を専門に学びました。そんな私の人生の中で欠かせない音楽を通して、皆さんとたくさん関わっていけたらと思います。福部町のことも知らないことが多いですが、これからいろいろと経験できることを楽しみにしています。どうぞよろしくお祈い致します。

戸田 温子（あつこ） 養護教諭

「人と話すこと」「おいしいものを食べること」「スポーツをすること・観ること」が大好きです。最近ちょっと運動不足なので何か新しいことにチャレンジしたいと思います。苦手なことは「早起き」。生徒に言う前にまずは自分からと思い、毎日闘っています。

福部町のことは恥ずかしながら「砂丘とらっきょう」が有名ということしかまだ知りません。生徒・地域と関わる中で福部町の魅力を発見していきたいと思います。精一杯がんばりますので、よろしくお祈い致します。

4月～5月上旬の予定

4月の予定

5月上旬

18	火	全国学力・学習状況調査	1	月	学園遠足（長弁当）
19	水	3年修学旅行、1・2年家庭訪問	2	火	
20	木	3年修学旅行、1・2年家庭訪問	3	水	憲法記念日
21	金	3年修学旅行	4	木	みどりの日
22	土	参観日、PTA総会、部活後援会	5	金	子どもの日
23	日		6	土	
24	月	振替休業日	7	日	
25	火		8	月	部活中止（職員研修のため）
26	水		9	火	生徒総会
27	木		10	水	
28	金	1年心電図検査、ブラックシアター	11	木	
29	土	昭和の日	12	金	
30	日		13	土	